



大きく美味しいさつまいもを 「由栗いも」植え付け体験

さつまいものブランド品「由栗いも」の植え付け体験を6月8日に角田小学校、9日に継立小学校の児童が行いました。そらち南さつまいもクラブの協力のもと、児童は専用の道具で苗を植えつつ土を被せ、自分の名前を書いた板を目印に設置。「土の中に植えるときに力を入れるのが難しかった」「大きく美味しいさつまいもになってほしい」などと話していました。



パラスポーツ選手の人生を知る 介護学校でパラスポーツすごろく体験

北海道介護福祉学校で6月7日、パラスポーツすごろくの体験授業が行われました。パラスポーツすごろくは、マス目に「趣味が欲しくてパラスポーツを始める」と表記されているなど、パラスポーツ選手の人生を追体験するルールで進行します。すごろくに取り組んだ学生たちは選手の喜びや苦労を感じ「現実でのハンディキャップが表現されていた」などと話していました。



異国の伝統文化に触れて ユルタ設営ワークショップ

キルギスなどの遊牧民に伝わる移動式テント「ユルタ」の設営ワークショップが5月29日、湯地の丘で行われました。中央アジアの農業を研究している坂下明彦さんが主催し、町民や留学生など約40人が参加。柳で作られたドアに蛇腹式の壁を組み合わせ、帯で縛って固定。天窓とそれを支える柱、装飾品などを取り付け、壁の外を布で覆うと、ユルタが完成しました。



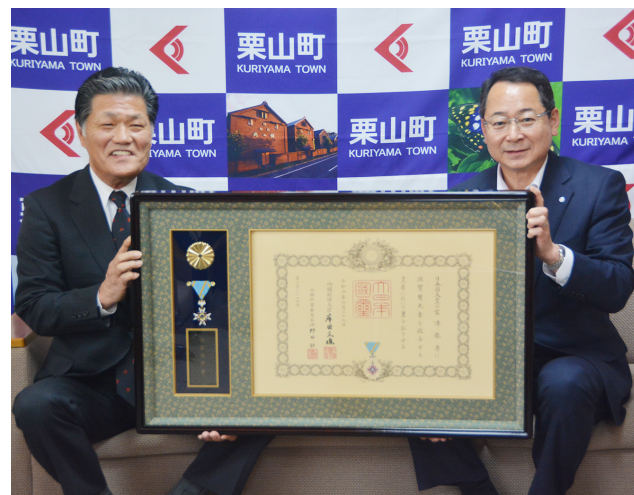
花に囲まれた環境づくり 花いっぱい運動

花と緑に囲まれた美しい町並みを目指す「花いっぱい運動」が5月29日、町内各所で行われました。各町内会・自治会などの協力のもと毎年開催しているもので、今年で46回目。当日は早朝にも関わらず、多くの地域住民が参加。マリーゴールドやペチュニアなどの花を公園や街路の花壇に植えたほか、雑草などを取り除いて、美しい環境づくりに取り組みました。



瑞宝双光章と瑞宝単光章を受章 富澤龍男さんと早苗雄二さん

町内在住の富澤龍男さん（中央4）に瑞宝双光章、早苗雄二さん（角田）に瑞宝単光章が贈られ、6月10日に役場で伝達式が行われました。富澤さんは南空知消防組合の元消防監として、早苗さんは栗山消防団の元分団長として活躍。長きにわたり、地域住民の生命と財産を守ってきた功績を称えての受章となりました。伝達式で佐々木学町長は、お二人に賞状を手渡し「受章は栗山町にとっても誇りです。長年消防活動に尽力していただき、ありがとうございました」と話していました。



町の玄関に彩りを 栗山駅前花壇づくり

チーム夢^{ときわ}が6月4日、栗山駅前の花壇にボランティアで花の苗を植えました。同団体が毎年実施しているもので、今年で9年目。吉田礼子代表は「皆さんの応援があったからこそ続けられた。花も喜んでいと思います」とあいさつ。参加者約20人は苗の植え方について説明を受けた後、1時間ほどかけてミニダリアやアゲラタムなど様々な花を植えていきました。



国道234号沿いを清掃 ごみゼロの日運動

栗山町国道234号整備促進期成会主催の「国道ごみゼロの日運動」が5月30日、国道234号線沿いで行われました。同日の「ごみゼロの日」に合わせ、沿線企業・町内会の協力のもと実施。約100人の参加者は7班に分かれ、ハサンベツ里山入口から約4kmの区間を清掃しました。参加した町民は「快晴の中、清掃ができてよかったです」などと話していました。

